

令和8年8月6日

長野県学校農業クラブ各種県大会「平板測量競技の部」学習会参加報告

社会事業部 黒川義敬

- ・日時 令和8年7月30日（木）午後1時～午後3時
- ・場所 長野県下伊那農業高等学校
- ・学習会内容 「最新の測量技術についての講義・実演」
講師・実演実技指導 社会事業部員

〔報告〕

長野県学校農業クラブ各種県大会「平板測量競技の部」において、「最新の測量技術についての講義・実演」を行いました。

まずは、教室内で、堀内担当副会長により、「土地家屋調査士」についての説明案内があり、その中で、土地家屋調査士の職名を知っている学生が2名、そのうち1名については、職務内容も多少知っていてくれたことに驚きを感じました。

その後、スマホのアプリによる写真測量・LIDAR 測量によりで教室内の三次元計測を体験していただきました。今回、生徒さん自身のスマホにアプリをインストールしていただきましたので、帰宅後も使用していただき、アプリで様々なものを三次元計測して興味を持っていただければと思います。

最後に、グラウンドに移り、実演や体験を生徒さんたちに行っていただきました。トータルステーションによる観測、GNSS の観測とアプリによる人工衛星の位置のバーチャル体験、ドローンによる撮影等の実演を行い、可能なものについては、時間の許す限り測量機器に触れて体験をしていただきました。

この日、生徒さんたちは、平板測量を行い、トータルステーション・GNSS・ドローン・スマホの三次元計測と測量機器の何十年もの進化を一日で体験することとなり、良い1日になったのではと思います。

この日が、きっかけとなり一人でも多くの生徒さんが、さらに測量に興味を持ち、一人でも多く土地家屋調査士を知り、その先に仲間となる方が出てきてくれればと思います。

また、今回のような出前講座は、初めてで、機器の紹介の仕方、時間配分、話し方等、うまくいかないことも多々あり、今後このような内容の出前講座を提供するうえで、改善点を検証し、より良い出前講座を提供できればと感じました。